



新着図書案内



2016年7月発行



『微分、積分、いい気分。』

高校レベルの微分・積分はゴキゲンな日常にいくらでも潜んでいる。コーヒーを淹れたとき、映画館でいい席を探すとき…。身の回りの現実世界に潜んでいる、この世界を記述する数学、とりわけ微積分の存在を明らかにする。

オスカー E.フェルナンデス // 著 岩波書店



『にっぽんのかわいいタイル 昭和レトロ・モザイクタイル篇』

おばあちゃんの家、銭湯、映画館…。昭和を彩ったなつかしいタイルの8割が、岐阜県多治見市笠原町で作られていた。色とりどりのタイルを生み出した笠原町と、いまも笠原タイルを貼った建物がのこのる全国の街町を訪ねる。

加藤 郁美 // 著 国書刊行会



『江戸の科学大図鑑』

エレキテル、万年時計、天球図、解体新書、動植物図譜、算術書・算額、からくり人形…。江戸科学の驚異の世界を総覧するヴィジュアル図鑑。1000点を超える図版をオールカラーで収録する。

太田 浩司 他 // 監修 河出書房新社



『くらべる東西』

桜餅、タクシー、いなり寿司から、銭湯、座布団、縄文土器まで、34組の東(主に関東)と西(主に関西)の文化・風俗の違いを紹介。違いが一目で分かる写真を掲載し、それぞれの特徴を解説する。

おかべ たかし // 文 山出 高士 // 写真 東京書籍



『「不思議の国のアリス」の分析哲学』

アリスがアリスであるための必要十分条件とは? ハンプティ・ダンプティという名前は卵形という意味? 論理学者だった作者ルイス・キャロルがお話にこめた知的たくらみを、分析哲学者の著者が鮮やかに読み解く。

八木沢 敬 // 著 講談社



『ことばあそびの歴史 日本語の迷宮への招待』

なぞなぞ、縁語、掛詞、口合・地口、判じ絵、回文、都々逸…。『万葉集』から中世、江戸、幕末・明治まで、おもしろいことばあそびを紹介しながら、日本語という言葉の仕組みを解き明かす。

今野 真二 // 著 河出書房新社



『日本の色 売れる色には法則があった!』

食品、日用品、家電、店舗デザインなど、ヒット商品や伝統色を用いた配色実例から、成功のヒミツをひも解く。目的に沿ったもっとも効果的な色の使い方がわかる。色の役割や機能、配色のルールなども解説。

桜井 輝子 // 著 朝日新聞出版



『子どもの自分に会う魔法』

絵本から1フレーズを抜き出して名言として捉え直した「名言の庭」、大人になった少年少女のための名作を紹介した「児童文学は大人になってから。」を収録。『MOE』連載を新たに構成・加筆して単行本化。

石井 ゆかり // 著 白泉社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『江戸っ子が好んだ日々の和食』

江戸時代の人びとはどのような食事をしていたのか。庶民の食卓から屋台、料理茶屋での接待、豪華弁当、大食いイベントの開催、スイーツまで、江戸の和食の世界を概観する。日本料理の変遷や「だし」、発酵技術についても綴る。

中江 克己 // 著 第三文明社

『世界の不思議な音 奇妙な音の謎を科学で解き明かす』

さえずるピラミッド、歌う砂漠、ささやく回廊、世界一音の響く場所…。室内音響学を専門とする著者が、“音の驚異”の収集家として、視覚に頼りがちな人間が聞き逃してきた豊かな世界を案内する。

トレヴァー コックス // 著 白揚社

『雑学の冒険 国会図書館にない100冊の本』

「国会図書館にない本」はどういう本か、なぜ国会図書館にないのか。「国会図書館にない本」100冊を素材に、雑談の楽しさ、無駄の効用、さらには、雑学の魅力を紹介する。

礪川 全次 // 著 批評社

『絵はがきで楽しむ歴史散歩 日本の100年をたどる』

東京の名所案内、近代化する都市、暮らしと文化、近代史を飾った人々、新しい技術と産業、戦後復興と高度成長期…。絵はがきを通して近代日本100年を展望し、教科書では学べない本当の時代と風景を、カラーも交えて紹介。

富田 昭次 // 著 青弓社

『スヌーピーのひみつA to Z』

世界中で愛されるスヌーピー。その誕生のひみつから、作者シュルツの素顔、ファンの聖地サンタローザまで、漫画「ピーナッツ」の世界をA～Zのキーワードで案内。谷川俊太郎のエッセイや貴重な原画、キャラクター図鑑も収録。

チャールズ M.シュルツ 他 // 著 新潮社

『戦地の図書館 海を越えた一億四千万冊』

戦場の兵士に本を送れ。第二次世界大戦中、図書館員・米軍・出版業界が展開した史上最大の図書作戦。全米で行われた本の寄付運動、兵士用に独自に開発されたペーパーバック〈兵隊文庫〉などについて余すところなく描く。

モリー グプティル マニング // 著 東京創元社

『中国 虫の奇聞録』

セミを愛した権力者、アリを調教する芸人、史上最大のホタル狩りを楽しんだ皇帝、バッタを呑み込んだ名君…。周代から清代ころまでの中国人と昆虫とのかかわりを、正史や野史、地誌、文学などにさぐる。

瀬川 千秋 // 著 大修館書店

『日本人が知らないアジア人の本質 旅行記・滞在記500冊から学ぶ』

良くも悪くもアナログ的な日本、人間不信の中国、差別を是とする朝鮮(韓国)…。外国人の視点で書かれた旅行記や滞在記に記述されている具体的事象から、アジアの国々の文化のコアに迫る。

麻生川 静男 // 著 ウェッジ

『夢二を変えた女(ひと) 笠井彦乃』

熱烈に竹久夢二を恋し、父の反対を押し切って想いを遂げ、画家として立つ夢を追い続けた笠井彦乃。夢二は芸術を共有できる恋人を得て、生涯で最も幸せな時を過ごした…。2人の日記や手紙から、彦乃の実像に迫る。

坂原 富美代 // 著 論創社

『天気と海の関係について わかっていること知らないこと』

天気は空を見ているだけではわからない。海を知れば、天気の本物の姿を知ることができる。黒潮、梅雨、台風、北極や熱帯の海、気象観測…。8つの話題をとおして、新進気鋭の研究者たちが、知られざる空と海の関係に迫る。

筆保 弘徳 // 編 ベレ出版

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

